

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）【医学部保健学科】

医学部保健学科では、カリキュラム・ポリシーに基づいて編成された教育課程にそって保健医療分野における専門知識・技能等を習得するとともに、豊かな人間性と倫理性を兼ね備え、国民の健康と福祉に貢献できる者に対して、看護学専攻は学士（看護学）の学位を、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻は学士（保健学）の学位を授与します。

具体的には、つぎの目標に達していることが学位取得の要件となります。

- ・教養教育と専門教育をとおして培った幅広い知識と各保健医療専門職としての専門的な知識・技術をもとに、保健医療分野の動向を見通す力を身につけていること。
- ・修得した専門的知識・技術を保健医療の場で活かすことにより、直面する課題を解決する力をもっていること。
- ・医療専門職者として保健医療を正しく認識し社会貢献を意識し、生涯にわたり自分自身を成長させていくための探求力を身につけていること。

保健学科では、医学部保健学科のディプロマ・ポリシーに加え、専攻別に以下の内容を修得していることを求めます。

【医学部保健学科】

（看護学専攻）

- ・最新の専門知識及び人間や社会への洞察を深化させ見通す力
- ・社会的ニーズの変化に柔軟に対応し、チーム医療の一員として、他職種との連携・協働、調整及び問題を解決する実践力

（放射線技術科学専攻）

- ・最新の専門知識と技術及び論理的思考と客観的判断に基づく洞察力
- ・放射線技術の専門知識を最新の医療技術に応用できる学術的問題解決能力

（検査技術科学専攻）

- ・最新の専門知識、判断力、実践力をもって臨床検査学の諸問題を的確に見極める能力
- ・チーム医療の一員として地域の保健医療に貢献できる連携能力

（理学療法学専攻）

- ・最新の専門的知識と職業倫理、リハビリテーション関連領域の知識、理学療法の対象者が抱える諸問題を的確に分析する力及び理学療法学の課題を見極める力
- ・理学療法の対象者や取り巻く家族等が抱える問題を、専門職連携などにより多面的に解決する実践的な力

（作業療法学専攻）

- ・最新の専門知識、実践力及び判断力、作業療法学の諸問題を的確に見極める能力
- ・チーム医療の一員として地域のリハビリテーション医療に貢献しうる問題解決能力